

斎藤月岑編『増補浮世絵類考』(ケンブリッジ本)

「菱川氏系図」

藤原姓 菱川七右衛門

房州平群郡保田町住 紺屋ヲ業トス

寛文二年二月十五日歿

菱川吉左衛門道茂入道光竹

房州平群郡保田町住 家業縫箔屋其業精妙なり

実子

菱川吉兵衛師宣入道友竹

浮世絵の始祖

房州平群郡保田町ノ産。若年ノ時江戸ニ移リ居ス。
正徳中江戸ニ歿ス。享年七十余。居所ヲ考ルニ、貞享四年板江戸鹿子二村
松町二丁目、元禄二年板江戸図鑑、及同五年板買物調方三合集覽二橋町ト
アリ。一説、堺町横町、又大伝馬町二丁目ト云、是等転宅ノ処なるヘシ

二男

同 正之丞(マサノ)

門人

菱川政信 字守節 画風ハヨク師ニ似タリ

門人

菱川友房 画風ハ似テ筆オトレリ

門人

古山太郎兵衛師重

門人

古山新九郎師政

享保ノ人。称文志。両国米沢町江市长屋住ス。此人ニ
至テ菱川風ノ画風ヲ失フ、世事談ニ見ユ。市川海老蔵
似顔書出スト

実子

菱川吉兵衛師房

始、吉左衛門ト称ス。鹿子及図鑑ニ合集覽等ニ吉左衛
門ト在。父師宣ト同居。始、画師、後、紺屋ヲ業トス。

二男

同 沖之丞(ナカノ)師永

鹿子及図鑑ニ作之丞トアリ。一説ニ酒造丞。
父ト同居。彩色ニ妙ヲ得タリ

実子

同 佐次兵衛重嘉

家業紺屋

同 弥右衛門

師宣の血脈六代目に至りて絶す。今養子を以て家を続、房州保田町に在り。
是七代目なり。女子他に嫁て生る血脈の者同所他家には在と云。